

## 七月読み取りおけいこ（高）④

名前（

夏の山はくつきりと青くてきれいですよね。京都の山は  
いっどうやってできたのかお話ししよう。

といっても、広いのでひとことでは語れないのですが、  
いくつか紹介しますね。

北山のハイキングコースのあちこちに、まるい枕まくらのよ  
うな石がごろごろしています。これは「枕状溶岩」という  
もので、約二億七千万年前にそこに海底火山があった証拠  
なのです。噴火ふんか後すぐ海水につかるので冷やされてコロ  
ンと丸い形になります。

鞍馬山くらまの石灰岩は約二億六千万年前のサンゴの化石を  
含みます。

右京区のコノドントという生き物の化石は約三億三千  
万年前のものです。鳴滝砥石の中によく入っています。

学校の中庭でも拾える石、チャートは放散虫ほうさんちゅうというプ  
ラクトンの化石ですが、これは約二億〜二億四千万年ほ  
ど前のものです。

これらのことから言えることは、京都の山は昔海だった  
ということです。二億数千万年前まで浅い海だったのがだ  
んだん持ち上がり、ずれたりまがったり折り重なったりし  
ながら陸になったのです。

大文字山ではホルンフェルスという固い石を見ることが  
できます。地表近くまで溶岩が上がってきていたのでそ  
の熱で砂岩や泥岩が固まったものです。

また、約百万年〜四十万年前は氷河がとけて桂や嵯峨あ  
たりまで海水が来ていたことがわかっています。このころ  
京都にゾウもいたんですよ。深草からゾウの化石が見つ  
かっているのです。もっと知りたくなった人は、科学センタ  
ーに行くといいですよ。音読サイン↓

① 何の話ですか？

② 枕状溶岩は何があった証拠ですか？

③ なぜ枕のような形になるのですか？

④ 鞍馬山から見つかるのは何の化石ですか？

⑤ ホルンフェルスは何が固まったものですか？

⑥ コノドントは何の中に入っていますか？

⑦ 上の話に何種類の化石の話が載っています  
か？

⑧ 昔京都を歩いていた今はいない動物は？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） チャントという石は放散虫の化石だ。

（ ） 鳴滝砥石はコノドントの中に入っている。

（ ） ハイキングで溶岩をふんでしまうかもしれ  
ない。

⑩ 上の文の感想を五行でかきましょう。

できばえは？

